

Seiun

Interview

輝く人 普通科10期生 島田友典さん
4人からのメッセージ

恩師から 田尾先生・桑原先生

新幹事キャンパスライフ／同窓会報告

幹事's 同窓生探訪

同窓会室より 泉ヶ丘祭info／幹事総会報告／『青雲会』ゴルフコンペ報告

泉ヶ丘通信 club activity／卒業生母校に帰る／泉ヶ丘創立30周年記念事業

第7回総会・懇談会のお知らせ

「成功するのはレンガのごとく」

島田友典 (普通科10期生)



自然災害を完全に
なくすことはできない。
災害が起きても被害の規模を
なるべく小さくすることは大事。

—こんにちは。本日はお休みのところありがとうございます。それでは早速ですが、泉ヶ丘校を卒業されてから現在までの経歴を教えてくださいませんか？

島田 泉ヶ丘校を卒業後、徳島大学へ行きました。学部は工学部建設工学科でした。平成12年に国土交通省の北海道開発局へ就職し、平成15年まで在籍しました。平成16年から出向という形で国土交通省管轄の研究所へ移籍して、ついでこの間の平成24年3月までいました。この4月から再び開発局へ異動になり、今に至っています。

—研究所では、具体的にどのようなことを研究されていたのですか？

島田 主に河川工学です。川には堤防がありますよね？大雨の時など、水があふれて堤防が壊れ、周辺に被害が及ぶことがあります。今まではどのように堤防が壊れて被害が広がっていくのかがよくわかっていなかったんです。そこで私は、どのような段階を経て壊れていくのか、その現状の把握について研究していました。

—その研究をやってみて、何かわかったことはありましたか？

島田 この研究で、今まで明らかになっていなかった堤防の壊れていく様子、被害が広がる過程が概ねわかるようになりました。その成果を踏まえ、これからは、そういう状況になった時にどうすれば被害を抑制できるかという点に要点は移っています。私自身は異動してしまいましたが、形は変わっても関わることはありますので、減災についての取り組みは続くと思います。

—いま「減災」というお話が出ましたが、島田さんたちがされているお仕事の大きな目標は、やはりそこにあるのですか？

島田 そうですね。自然災害を完全になくすことはできない

ので、災害が起きても被害の規模をなるべく小さくすることは大事だと思います。

—堤防が決壊するメカニズムがわかるようになったわけですが、どのような実験だったのでしょうか？

島田 今までも小さな模型を使った実験はあったのですが、実際の川にあるような大きさの堤防になったらどうい現象が起きるのかわからなかったので、堤防も含め河川全般について実物大規模で実験を行うことが出来る施設、世界でも最大規模の「十勝川千代田実験水路」が平成19年、北海道に完成しました。ここができたことによって、仮定の洪水を起こしてみたり、実際に水をあふらせて堤防を壊すこともできるようになりました。その結果を今後の対策に活かすことが出来るかと考えています。

—本物の川をわざと氾濫させたりするわけですから、現場はかなりダイナミックなんですよね。見ているときは楽しみな部分もあったんじゃないですか？

島田 実験する前はまだ全貌がわかっていなくて、過去の結果からある程度は想定するんですが、実際にやってみて、そのデータを解析していくと「こういうことなのか」というのがだんだんわかってくるので、そういう楽しみはありましたね。

—研究者の方はみなさん、好奇心をお持ちなんですよね。

島田 みなさん、研究のきっかけはそこからだと思えますね。

—各地で講演活動もされていたとお聞きしましたが。

島田 ええ。学会や講演会などがあると、それに同行して発表や講演を行っていました。

—お仕事の中でのエピソードなどありますか？

島田 学会の発表では海外にもよく行ったのですが、アルゼンチンで現地の国内線に乗り継いだ時に、その飛行機がオーバーブッキング(航空会社が飛行機の座席数以上に予約を受けてしまうこと)してたんです。海外ではわりとよくあることで、普通はそこで搭乗できない人が出るんですが、1人だけどうしてもその便に乗りたいたいというお客さんがいたんです。どうするかと思っていたら、なんと、操縦室の機長の横の席に乘せて出発してしまいました(笑)。日本でならまず考えられない事だったので、改めて文化や考え方の違いを知った出来事でした。

—それは海外ならではの体験をされましたね。さて、島田さんは現在2人のお子さんがいらっしゃるようですが、河川の専門家としては、お子さんと一緒に川で遊ばれたりされますか？

島田 残念ながらまだ実現していないんです。私の子どもも時

代に身近にあった川はどれも水質が悪く、とても入って遊べるようなものではなかったので、北海道のきれいな川では、ぜひ子どもたちと一緒に遊びたいですね。

—今までの人生の中で、感銘を受けた言葉はありますか？

島田 「成功するのはレンガのごとく」という言葉があります。どんなに大きな建物を造るにも、一つずつレンガを積んでいかなないと完成しないように、目標を定めたら、まわり道のように思えても、一つずつ物事を進めていくことが結局は成功への近道なんだという意味なんです。私たちのような仕事をしていると、たしかにそうだなあと感じましたね。

—高校生活を振り返って、どんなことを思い出されますか？

島田 一番思い出に残っているのは、クロスカントリーですね。後にも先にも、あんなに長い距離を走ったのはあの時だけでした。当時は正直言って「面倒くさいな、しんどいな」と思っていたんですが、今振り返ってみると、そういう経験ができたのも貴重だし、頑張れば走定できるということも学べて、それはきっと今の自分に役に立っていると思いますね。

—今、会ってみたい先生はいらっしゃいますか？

島田 高校の担任が登先生だったのでお会いしたいですね。今でも年賀状のやり取りはしているのですが、学校には行っていないので、機会があれば顔を出したいと思います。

—お気に入りの事柄や趣味があれば教えてください。

島田 北海道には温泉が多いので、家族と一緒に旅行しながら温泉巡りするのが今の趣味ですね。

—北海道で暮らしてみて、大阪との違いを感じることはありますか？

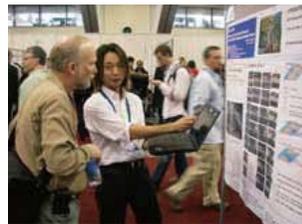
島田 自動車を運転していると「〇〇まで何百km」という看板が出て、「どれだけ先まで案内してるんだ」と思ったら実は次の街だったとか、やっぱり距離や広さの感覚は大分違いますね。でも、どちらにもそれぞれの良さがあると思います。—泉ヶ丘の同窓生や後輩に何かメッセージをお願いします。

島田 勉強については、もちろん学校で教えてもらえますが、学生の間に少しでもいので「将来こういうことがしてみたい」とか「こういう事に興味があるんだな」という事を意識しておいて欲しいですね。勉強のための勉強ではなく、目的があって勉強する方が、より一層身が入ると思います。実は私自身がそういう風に過ごせていません。当時は「しなければいけない」という想いで勉強していましたので、もったいないことをしていたな、という気持ちはありますね

—最後にあなたにとって泉ヶ丘校とはどんな学校でしたか？

島田 そうですね。中学、高校と泉ヶ丘校で過ごしたので、現在の自分を築く基礎になっていたなというイメージがあります。楽しかったことも思い出しますね。

—ありがとうございます。



島田友典 しまだ・ともりのりさん

1976年(昭和51)年7月、大阪生まれ。1995年に私立帝塚山学院泉ヶ丘高等学校を卒業し、国立徳島大学工学部建設工学科へ入学。2000年4月に国土交通省北海道開発局へ入局。2005年4月に(独)土木研究所寒地土木研究所へ出向し、河川工学に関する研究生活が始まる。2007年からは十勝川千代田実験水路フィールドに、越水による堤防破壊メカニズムの解明に向けた研究を行う。2012年秋にはこれらの成果を取りまとめた「破壊幅機構に関する実験研究報告書」を開発局・寒地土木研究所の共同で公開予定。

人の縁や絆に感謝



普通科 3期生
佐藤 寿樹
眼科クリニック 佐藤眼科院長

現在、私は母校帝塚山泉ヶ丘からほど近い富田林市で平成21年2月から

眼科クリニック 佐藤眼科 (<http://www.sato-ganka.jp/>) を開業しています。日帰り白内障手術を年間約200件行っていて、隣には眼科店 (MOCA/<http://www.opt-kongo.co.jp/moca/>、メガネの金剛/<http://www.opt-kongo.co.jp/>) を併設し、眼科診察から眼鏡作成までワンストップ型サービスを提供できる施設をコンセプトにしています。眼鏡店に関しては、眼科医院にただ併設しただけの眼鏡店ではなく、双方でそれぞれの専門性を追求してシナジー効果を上げていくことが狙いです。

大阪府経営革新事業にも承認され、眼鏡店を経営している普通科13期生の弟(三男)とともに運営しています。自分のクリニックを持って、最近特に感じるのは人の縁や絆の大切さです。私に眼科の手術を手取り足取り教えてくれ、仕事に悩んだときに相談ののっていたのは普通科1期生の留守先生でした。留守先生がいなければ、今の自分はないと思います。

近畿大学堺病院勤務時代には普通科2期生の咲山先生とご一緒させていただき勉強させていただきました。開業時にホームページを作っていただいたのは弟(三男)の同級生である普通科13期生の島田さんで、各方面からお問い合わせをいただくほど好評です。普通科4期生の二男も眼科医で当院を手伝ってくれています。泉ヶ丘校関係だけでもこれだけの縁があるわけですので、それ以外となると無数の縁と絆に助けをいただいているわけです。この縁と絆に感謝し、患者様、スタッフ、家族など当院に関わる全ての方が笑顔と幸せを得られるように努めていきたいと思っています。



会社の人事を描く



国際科 4期生 趙 啓子
株式会社東京糸井重里事務所 (ほぼ日刊イトイ新聞) 勤務

早いもので泉ヶ丘校を卒業してから22年が過ぎました。東京の大学に進学後、化粧品会社で9年間勤務、そして2004年に現職の東京糸井重里事務所に入社しました。

当社はもともと、コピーライター糸井重里の個人事務所としてスタートしたのですが、1998年に「ほぼ日刊イトイ新聞」(<http://www.1101.com>、以下「ほぼ日」というウェブサイト)を立ちあげてからは、この「ほぼ日」の運営が主要な事業内容となっています。この「ほぼ日」、ご覧になられたことがありますでしょうか。糸井重里と、乗組員とよばれるスタッフが読者の方々に「読んでよかった、おもしろかった」と感じてもらえるものを自分たちで構成、取材したり、商品を企画して販売したり、ときにはイベントを行ったりとほぼ、といながら毎日何らかのコンテンツを企画し、お届けしています。私はここで現在人事を担当しています。もともと別の業務を担当していたのですが4年前、この会社で産休取得第1号となって職場復帰した時に社長から「人事をやりませんか」とお声がけいただいたのがきっかけで務めることになりました。この会社では、自分たちがおもしろいと思ったことを、自分たちで自由に創って動かしていけるようにするために、いわゆる部署や肩書きがなく、上司部下の関係もありません。自分で仕事を創り、仲間と相談しながら自分で考えぬいて判断をし、仕事を進めていくというやりかたをしています。

私が着任するまでは人事という役職がなかったこともあり最初は「人事の仕事を作り、社内に知ってもらう」ところからのスタートでした。社内にも理想の人事のイメージがなく、最初は自分が考えたことを社内のみんなに伝えてそこから帰ってくる反応で改善したり学ぶしかありませんでした。

最初の数年は、「この会社の人事」を描き出す、創ることの難しさに途方にくれたり落ち込んだりしたこともありましたが組織づくり、人事制度、採用など「人」に関わる現場を通してようやく手応えが感じられ始めたように思います。

まだまだ試行錯誤は続くのですが、この会社がのびのびと、おもしろいことができる職場であるよう、人事としてできるサポートを努めていきたいと考えている毎日です。



Working in the US



国際科 5期生 霜野 仁美
株式会社NSDビジネス開発部
プランニングマネージャー

1991年の春に泉ヶ丘校を卒業して21年が経った今、サンフランシスコで生活しています。大学を卒業後、株式会社NSDというソフトウェア開発の会社に入社し、秘書として約10年、セキュリティプロダクト(ウイルス対策製品など)の営業を約3年、その後、新規ビジネスを企画する部門への異動のため東京に転勤し、約2年経ったある日、「グローバル人材を育成するためにサンフランシスコに1年ほど行ってみたいか」という話がありました。現地の企業でインターンとして勤務し、アメリカでのビジネスの進め方(やり方)を学ぶことが目的です。

1月に渡米し、現在はObscura Digitalというグラフィックソフト開発の会社でCOO(最高執行責任者)のもと、経営企画をしています。具体的には、売上を伸ばすにはどのような営業活動をすれば良いのか、カスタムメイドで作ったソフトウェアを製品として売り出す企画を考えたり、お客様へのプレゼンテーションの資料をより短時間で効率的に充実した内容のものに作り上げるためのスキームを考えたり、事業拡大にあたって必要な人材の採用について計画したりなど、経営全般に関することを企画・検討しています。会社はフレックスタイム出勤で、ペットを連れて出勤することもでき、自由にフロアを走り回るワンちゃんたちはスタッフの癒しになっています。

ビジネスの進め方や役割についての考え方は、日本企業とは相当異なり、最初は戸惑った部分もありましたが、今ではすっかり慣れました。例えば、日本企業ではオールラウンドプレイヤーが好まれますが、アメリカではプロフェッショナルが好まれます。ミーティングでも、日本企業では特定の人だけが話す「報告会」状態ですが、アメリカでは常に「ディスカッション」です。意見を言わない人はミーティングに参加する必要がないとみなされ、そのうちに参加させてもらえなくなることもあります。

海外生活は慣れるまでは大変ですが、素敵な友達もたくさんできました。サンフランシスコで知り合った大切な友達は、私にとって一生の財産になると思います。



グローバル人材をめざして!



普通科 9期生 藤本 周一
株式会社ネットス 代表取締役社長

高校の頃はお世辞にも英語が得意科目といえなかった私が、関西大学の4年生になった時に、「外国で学びたい!」という衝動に突然かられ、関大卒業後米国フロリダ工科大学に留学しました。フロリダでは国籍を問わず数多くの友人と出会うことができ、Facebookなどを通じて今も友人達と交流しています。

帰国後は、特許や意匠、商標など知的財産に関する分析、調査、翻訳を行っている関ネットスに就職しました。私が入社した頃は、国内案件の業務が大半でしたが、企業の国際化が徐々に進んでいきましたので、これから外国案件が増えると考え、当時なかった国際部門を立ち上げたいと上司に提案しました。

その結果提案が通り、昨年の代表取締役就任まで約10年間私は国際部門の部門長として外国の弁護士や、弁理士と協力して米国や欧州など外国の知的財産に関わる業務を行ってきました。

また、数年前からニュースなどで騒がれているように、中国などでiPad事件のような商標権問題や、特許訴訟などが急増していることから、弊社にも中国や、韓国、台湾の知的財産に関しての相談や依頼が増えていて、私自身も年に数回中国や、韓国に出張しています。

さらに、最近タイ、インドネシア、インドといった国の業務も増えていますので、そのような国についても勉強や訪問し、自分自身もよりグローバルな人材をめざしていきたいと考えています。

なお、一昨年から同志社大学で知的財産に関する講師をさせて頂いていますが、私の生徒達から就職内定の連絡をもらった時には、生徒達と一緒に大喜びしています。その時思い出したのが、泉ヶ丘校の先生達も私が大学に合格した際に一緒に喜んでくれたことです。

最後に、私は泉ヶ丘校の校訓である『思いやりこそ力』という言葉が大好きです。仕事では経営者、プライベートでは3人息子の父親という立場ですが、クライアントや、社員、家族、友人に対する思いやりがとても大切だと改めて感じています。泉ヶ丘校で思いやりの心を学べたことは、私の人生におけるとても大きな財産となりました。これからも思いやりの心を大切に生きていこうと思います。



恩師から

「随想」



田尾 充 先生(英語)

是を知る者は、是を好む者に如かず
 是を好む者は、是を楽しむ者に如かず
 卒業生への送る言葉によく引用していた論語の一節です。この言葉の深さを感じ出したのは三十を越えた頃です。今五十路を越え、益々その言葉の重さを感じています。同じことを経験しても、「いや〜、面白いね〜」と感じる人と、「ほんまに詰まん時間や」と嘆く人では、人生大いに違うように思えるのです。しかし、様々なものを「楽しめる」には相当の鍛錬が必要なようです。誰でも一つや二つなら趣味や生きがいで楽しめるものを持っているのですが。

好奇心・熱情

私のクラスの黒板の上に、書道の先生にお願いして、大きな文字で「好奇心・熱情」と書いて頂いた和紙を貼ってあります。何事にも、特に若い時に、好奇心を持てることが、人生を楽しむ根本のような気がします。その好奇心を持続させ、熱い思いで取り組み、また一つ楽しめるものが増えていきます。そんな風に生きて来た人が人生の達人のような気がするのです。

誠実

なかなか人生の達人にはなれなくても、人生を誠実に生きたい、また生きて欲しいと願

います。この思いは四十を境に切実に思うようになりました。生真面目に暮らすことは最近の風潮に合わないのか、真摯な姿勢が敬遠されているように見えます。誠実さは多くの日本人の根底に流れていた美徳だとさえ思っているものですが…。地道に生きることから、物事の本質を感じられるようになって思っています。昨今、どんな職においても、その道のプロ・名人が少なくなったのではないかと危惧しているのも、今の世の中をそのように見てしまっているからでしょうか。

縁あって二十五歳で泉ヶ丘に来てから、今年で二十八日目になります。ここで出会った、プロ中のプロと言える先生方が定年等で退職されていくことが増えて来ました。残念でなりません。淋しい気持ちで一杯です。替わりに若い先生方が来られ、清新でエネルギッシュな泉ヶ丘になり、それを頼りたくも、嬉しくも思うのですが。

先生方だけでなく、多くの生徒との出会いもありました。時折、卒業生と会い、懐旧談に花を咲かせています。卒業生の皆さん、時にはその笑顔を見せに来て下さい。老体に鞭打って頑張っている教員がいる間に。社会に貢献している皆さんの、人生をエンジョイしている姿を是非見たいものです。皆さんの母校で少しの間、昔に戻りませんか。

阪城公園・特設紅テント)。久しぶりの超満員。

5月 父死す。落語では先代金馬、漫才では島田洋之介・今喜多代、役者では先代勘三郎の弟子の助五郎を鼻肩にしていた。芸能好きの血を私が受け継いでいることは確かだ。鶴瓶斬2012(サンケイホールブリーゼ)。劇団☆新感線「シレンとラギ」(梅田芸術劇場メインホール)。藤原竜也、永作博美、高橋克実、古田新太他。團菊大歌舞伎・屋の部(松竹座)。「寺子屋」(身替座禅)「封印切り」。藤十郎の忠兵衛の台詞回しが絶妙。NODA・MAP番外公演「THE BEE」(OBP円形ホール)。立川志の輔独演会(森ノ宮ピロティホール)。「ハナコ」(中村仲蔵)。二席で2時間15分。声が少し枯れ気味なのが心配。

ここ7、8年、川柳作家の橋高薫風、麻生路郎のことをまとめるため劇場通いまままならなかったが、その仕事も一段落したので、今年はこの調子で劇場通いを続けることができるだろう。

「近況 1月-5月」



原 道夫 先生(国語)

1月 立川談春独演会(森ノ宮ピロティホール。以下会場同じ)。談志の弟子の談春が毎月一回大阪で独演会を開くことになった。談春を開くのは初めて。「按摩の炬燵」「居残り佐平次」。佐平次の立て弁の心地よさを堪能。中学校3年の夏、角座落語会で春団治の「血屋敷」を聞いて以来の感動。幸せな気分になった。

2月 談春独演会。「夢金」「明烏」。二席とも満席。

3月 桂団朝独演会(テイジンホール)。秀山祭大歌舞伎・夜の部(南座)。歌昇改め又五郎、種太郎改め歌昇襲名披露。「俊寛」「口上」「船弁慶」。吉右衛門の俊寛よりし。談春独演会。「黄金の大黒」「お若伊之助」。終演後、演者の談春も興奮気味の上出来。

4月 桂こころろ改メ二代目桂南天襲名披露公演(サンケイホールブリーゼ)。談春独演会。「札入れ」「慶安太平記」。由井正雪が出てくるまでを演じたが、それだけで1時間半の長講。唐組・第49回公演「海星」(大

新幹事キャンパスライフ

新幹事大学生のキャンパスライフをご紹介します!!
 生の声をお届けします。



Voice

もう夏になっちゃいましたね。大学の入学式が昨日のごとくに思い出せるのに、時間がたつのは早いです。(笑)ここでは、私の今の生活の一部を見せちゃいます(´・ω・´)!笑



千葉県立保健医療大学
 歯科衛生学科
竹内 唯
 (普通科 27 期生)

6:00 起床

起きたら、朝ご飯作ったり学校の用意をします(´^ω^`)夜遅くまでバイトをしているので、朝に洗濯や掃除をします。

8:45 家をする

学校の近く一人暮らしをしているので、この時間にでも間に合います☆早起きですけど(笑)高校の時は7時すぎに出ないと間に合わなかったのに比べて大違いです。(笑)

9:00 授業

1限からある時は、この時間からです。

12:00 お昼ご飯

自分で作った弁当を食べながら、大学の友達と騒いでます☆

18:00 授業終わり

5限まである時は、この時間までです。私の学科はかなり少人数なので、みんなと離れたなあって言って喋って一日の学校が終わります♪

19:30~0:00 バイト

都内の居酒屋で働いています♪月に10万くらい稼ぎます。大好きなアーティストのLIVEに行く為に頑張ってます(´▽´)笑

1時 帰宅&弁当作る&お風呂&寝る

この時間に帰るのは、ほんとに危ないんで用心して帰ってます。帰宅後は、次の日の弁当をかかざる作ってます。朝に作ると、寝坊した時に作れないので(笑)一人暮らししている身には、安くはないので、冷凍食品は使わないようにおかしは全部自分で作ります♪外食をなくすと、食費は月に一万もいかないですね。その後、お風呂に入って、寝ます(´^ω^`)

Campus Life

一人暮らしは、すごい楽しいですが、気を抜くと洗濯物とかもたまっちゃいますし、食生活も乱れます。でも色々勉強になるし、家に友達呼んで遊ぶのはめちゃくちゃ楽しいです(*´▽´*)これからの短い大学生活、思いっきり満喫しようと思います♪♪

Voice

6月、7月になりやっと大学にも慣れてきました。女子ばかりの学生生活は意外と楽しいです!大学は人数が多いのでたくさんの人と交流ができてとても新鮮です。ここでは私のキャンパスライフについて紹介します。

武庫川女子大学
 食物栄養学科
異 梨花
 (普通科 27 期生)

6:00 起床

1限目があるので毎日この時間に起きます。

7:00 登校

学校までの通学時間はだいたい1時間半です。

9:00~12:15 講義

武庫川女子大学ではかなり厳しく出席を取られます。きちんと出ないと単位を落とすしまうので授業は遅刻しないように!

12:15 昼食

友だちとワイワイしながら食べます。昼休みは混みますが武庫川女子大学には校内にマクドがあります。

13:05~18:00 講義

自分が取る資格によって授業の組み方や授業の量がかわってきます。私は資格をたくさん取ろうと思っているので友だちよりも授業が多いです。

20:00 帰宅

バイトがある日はもっと帰りが遅くなりますが、直帰すれば大体この時間です。帰りに1人でぶらぶら遊びに行ったり友だちと何か食べて帰ったりするときもあります。

22:00 勉強

課題が多いので家でやらないと間に合いません!寝不足には注意して下さい。

Campus Life

これがだいたい1日のスケジュールですが、はやく講義が終わる日もあるのですがそのときは遊びに行ったり気楽に過ごしています。女子ばかりで最初は嫌でしたが友だちもたくさんできてとても楽しい毎日を送っています♪ただ、勉強の手を抜くとテストが大変なので毎日勉強しています。目標をもって取り組みたいので何事も楽しめると思っています。大学ではぜひたくさんの人と交流して自分の世界観を広げていってください。

プチ 同窓会

普通科22期6年コース 同窓会

水谷 玲子(普通科22期生)

去る2011年8月26日、帝塚山学院泉ヶ丘中学校22期卒業生の同窓会を開催致しました。中学時代にお世話になった担任の先生方も参加していただくことができ、思い出に残る同窓会となりました。卒業後初めての中学の同窓会の開催でしたが、みんなでお酒を飲みながら学校生活6年間の先生や友人との懐かしい思い出話をしたり、仕事や学業などの近況報告をしたりと今まで離れていた月日を感じないほど色々な話をし、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。これからは4年ほど色々な話をし、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。これからは4年ほど色々な話をし、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。これからは4年ほど色々な話をし、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

最後になりましたが、今回の同窓会開催にあたり御協力していただいた先生方、同級生の皆様、本当にありがとうございました。次回同窓会も皆様御協力よろしくお願ひ致します!!



普通科25期 同窓会

梅本 麻実(普通科25期生)

2012年1月9日に普通科25期生、国際科24期生の成人式記念同窓会を行いました。成人式に合わせて実施したことで大阪を離れている友達や担任の先生方も参加してもらったことができて110名を超える盛大な同窓会になりました。久しぶりに顔を合す人たちも互いの近況報告や中学・高校時代の思い出話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。

また、ビンゴ大会では、一眼レフカメラや3DSなど豪華な景品も登場し、とても盛り上がりました。今回参加できなかった方も次の機会では一緒に懐かしい時間を過ごしましょう!



23期生ABCクラス 同窓会

谷口 知里(国際科23期生)

平成24年3月17日に20年3月卒業生ABCクラスの同窓会を道頓堀ホテルで開催しました。当日は、担任の大山先生、西元先生、友田先生もご来席下さり、60名を超える同窓生が集まりました。4年ぶりの再会に会場内は会話がはずみました。ジャンケンゲームや在学中に流行った曲のイントロクイズも行い、高校の頃に買ったように楽しいひと時を過ごすことができました。今回の同窓会を機に同窓生の繋がりが更に深まった幸いです。

最後になりましたが、ご来席下さった先生方、同窓生の皆さん、ご協力下さった同窓会事務局の皆さん誠にありがとうございました。次回また皆さんに会えることを楽しみにしています!



普通科7期・国際科6期 卒業20周年記念同窓会

村田 綾子(国際科6期生)

去る2月19日、普通科7期生、国際科6期生の卒業20周年記念同窓会をスイスホテルにて開催いたしました。90名もの卒業生が参加してくれました。また、当時お世話になり担任であった若菜・柴原・大山・永田・野野・岩崎各先生方や現教頭の谷先生、教科担当の飯本先生も参加くださり、盛大なパーティーとなりました。

卒業してから20年、今でも定期的に会う友、20年ぶりの再会の友、懐かしい面々との楽しい時間はあっという間でした。この同窓会を機に再度旧交を温め始めた同級生がいてくれると嬉しいです。中年にさしかかる少し落ち着いた仲間の顔ぶれにもかかわらず、久しぶりの再会を感じられないほど盛り上がりました。

また、先生方からのご挨拶で、舞台上に立たれたかわりがない先生方の姿に一気に高校生当時に戻ったように思いました。最後の写真撮影では、みんなにこにこ顔で同窓会の成功を実感しました。

最後に、今回の同窓会開催にあたり、ご協力していただいた先生方、同級生の皆さま、ご参加いただいた先生方、本当にありがとうございました。感謝いたします。



普通科6期・国際科5期 同窓会

井上 さくら(国際科5期生)

平成24年6月10日(日)リーガロイヤルホテル堺にて同窓会を開催致しました。

約15年振り、40歳記念となる事もあって企画しました。当日は登壇校長をはじめ、担任の飯本先生、山本滋樹先生、井上先生、堀池先生、恩師の川田先生、南先生がご参加下さり、総勢80名弱の参加者で大変賑やかで楽しい同窓会となりました。ご参加頂いた先生方、同窓生の皆さんどうも有難うございました。

卒業後にお会いする同級生や、また関東や名古屋からこの日の為に参加してくれた人もいて、本当に沢山の同級生が集まってもらえた事がとても嬉しかったです。早い時間からの開始という事もあり、50人弱の人がそのままホテル最上階のバーでの2次会に参加して下さり、約30人で3次会まで満喫した同窓会になりました。卒業振りの諸先生方とのトークや年を感じさせない同級生達との集まりはとても楽しいものだと感じましたので、今回は50歳記念で開催しようという約束し同窓会を開催しました。10年後を楽しみにしています。有難うございました!



普通科2期生 クラス同総会

宮前 雅典(普通科2期生)

去る6月30日土曜日、東心斎橋にあるアルグランド サ・タワー心斎橋21Fスカイサロンにて普通科2期生のクラス会を、当時の担任である脇田校長先生を迎えて行いました。23名の参加があり、昔話で大いに盛り上がりました。

2次会は普通科2期生の榎賀君が経営する「バー洋酒 くらしお」(大阪市中央区東心斎橋2-5-21 大阪屋敷館1階 06-6211-2141 <http://www.bar-kuroshio.com/>)にて参加者22名で行われました。



泉ヶ丘同窓会へのご寄付をいただきありがとうございました。

- ◆第2回青雲会ゴルフ…………… 寄付 ¥9,686
- ◆国際10期…………… 寄付 ¥1,530
- ◆普通23期…………… 寄付 ¥13,052

国際科10期 同窓会

猪尾 桂花(国際科10期生)

昨年、フェイスブックを通して、同級生から「久しぶりに同窓会したくない?」とメッセージが届きました。このメッセージをきっかけに、15年ぶりの同窓会を1月8日に開催しました。私も含め、子供連れの参加者を考慮に入れて、また、懐かしい学び舎を訪れるために、担任の飯本先生と相談の上、泉ヶ丘校の会議室にて開催しました。

参加者は担任の辻先生、飯本先生、英語科の山本倫子先生、そして、同窓生24名



とその子供達が16名でした。12時から17時まで、15年間をたっぷり語り合いました。会場設置、片付けまで全てにわたりご協力いただいた飯本先生、ありがとうございました。



Report 帝塚山学院 東京同窓会レポート

奥村 幸恵(国際科2期生)



7月7日にホテルニューオータニ「芙蓉の間」におきまして、2012年度帝塚山学院東京同窓会総会が開催されました。泉ヶ丘同窓会会長、広報委員長とともに、今年は私も初めて出席させていただきます。

毎年この時期に開催される東京同窓会、幼稚園から大学、泉ヶ丘中高の卒業生の方々今年も100名以上出席されていました。また、泉ヶ丘校の校長をされていた米田先生も大阪からご出席されていました。大阪から参加の男性コース「まっほつくり」の皆さんのゲスト演奏、フジッコ株式会社の取締役による講演などのイベントもあり、あっという間の2時間半でした。また、宝塚出身の女優和央ようかさんもお出席され、ゲームのプレゼンターとして壇上にあがられてとても華やかなりました。

会の最後には出席者全員での校歌・祝歌の斉唱。泉ヶ丘賛歌(ご存知ない先輩方がほとんどですが…)も皆さんと一緒に斉唱させていただきました。今年は祝歌「あかぬ雲」を作曲された川澄健一先生がご出席され、壇上で指揮をとられての全員斉唱。歌っている感動が胸が熱くなりました。

今年からは、東京でも、卒業生の集まりを企画するなど泉ヶ丘同窓会の活動を広げていきたいと考えています。関東在住の皆さんにおかれましては、ぜひ積極的に参加し、同級生のみならず先輩・後輩のつながりを深めていただければと思っています。

また、来年のこの東京同窓会総会にもぜひ一緒に参加しましょう。



※次回開催予定ですが、決まっておられませんので、来年度の お問い合わせ先は泉ヶ丘同窓会事務局まで TEL 072-293-8680

幹事's 同窓生 探訪

dokyusei-tanbo



泉ヶ丘校の卒業生で、現在同窓生が気軽に訪ねることのできる仕事をされている方をとり上げ、誌面で紹介することにより、同級生はもちろん、先輩、後輩の垣根も越えた同窓生同士の交流や親睦を深めるきっかけになればいいなと思い始めました。
(取材：普通科6期生 岸本威也、国際科2期生 高原聖子)

アートロックス

(普通科7期生 島山 貴由)

今回はじめに訪れたのは、普通科7期生の島山貴由さんが店主を務める鍵の専門店「アートロックス」です。

島山さんは泉ヶ丘校を卒業後、岡崎の自動車整備専門学校で学び、その流れから自動車ディーラーで営業の仕事をしていました。それ以外にも、大工として働いていた時期もあったそうですが、元々メカ好き、クルマ好きだったこともあり、好きな分野、得意な分野を活かし、その上で人から感謝される仕事がしたいと考えてようになりました。

ちょうどその頃、世の中の防犯意識が高まりを見せていたこともあり、鍵・防犯の専門家になろうと決意します。

それから1年余り、学校で基礎を学び、現場での経験を重ねて準備をし、24歳の時に、友人の整備工場の一角を借りてお店をスタートしました。

数年間そこでお店を続けた後、30歳の時に結婚、それを機会に店舗兼自宅として和泉中央に移転、現在に至ります。

事業内容は、鍵、錠全般、監視カメラなどのセキュリティ関連、金庫の販売・修理や自動車のキー閉じ込みのロードサービスなど、カギと防犯に関するあらゆる相談に対応できるように努めています。

また最近では、町内会やマンションの管理組合からの依頼を受け、防犯講習会を行うこともあるそうです。

職業柄、空き巣に入られたお宅のカギの取り替えを依頼されることもあるのですが、その度に「入られる前にあらかじめ相談してくれていたらよかったのに…」と歯がゆく感じることもしばしばだとか。

今後は、自動車では普及しているイモビライザー（電子的なキーの照合によって、専用のキー以外でのエンジン始動を不可能にする盗難防止システム）を、家庭の防犯システムとして広げていきたいと語る島山さん。その目標へ向けて現在も日々勉強を続けています。

みなさんも、合鍵の制作からキーの閉じ込み、防犯対策など、安全に関する事なら一度ご相談されてはいかがでしょうか？

～防犯一コマ～

泥棒は、基本的に時間がかかるのを嫌うので、侵入に手間がかかるように対策しましょう。（カギの数を増やす、カギの構造が複雑なものに取り替える、ガラスに飛散防止のフィルムを貼る…etc）

また、事前に下見をするケースもあるので、旅行などで家を空ける際には新聞を止める、留守電にしないなども効果があります。



アートロックス

〒594-1104 大阪府和泉市万町561-8
TEL 0120-824169



ブーランジェリーフクシマ

(国際科7期生 福島 弥生 旧姓:松川)

続してお邪魔したのは、国際科7期生の福島(旧姓:松川)弥生さんがご主人と共に営まれているパン屋さん「ブーランジェリーフクシマ」です。

実はこちらのお店、4年ほど前から泉ヶ丘校でもパンを販売されています。最近卒業された同窓生の方なら、お馴染みのお店だったのではないですか？

小さい頃からパティシエを希望していたという福島さん、大阪女学院短大に在学中にもケーキ屋のアルバイトを探しますが見つからず、代わりにミスタードーナツでアルバイトをしたということもありました。

同時に学生時代は、立ち上げたばかりのチアリーディング部の二代目部長として、他校のアメフト部の応援など、クラブ活動に没頭する日々を過ごされました。

短大卒業後、サウスタワーホテル(現在のスイスホテル)へ就職され、事務職として働かれます。その勤務先で、当時営業職をされていた現在のご主人と知り合われます。

その頃から「将来は2人でお店をしよう!」と話されていたそうです。

1999年、25歳の時に結婚。当時から夢の実現へ向かって、弥生さんはケーキ屋で、ご主人はパン屋でそれぞれ修行のために仕事をすることになります。その間に弥生さんは2人のお子さんを授かりますが、育児をしながらも店頭に立ったり、時にはおんぶひもでおぶったまま仕事もされていたのだとか。

そして2006年に独立し、意欲だったお店を堺市深阪でオープン。5年ほどそちらで営業され、2011年暮れに大阪狭山市大野台に移転、現在に至ります。

お店のテーマは「ハイ・スタンダード」。例えば、バゲットや食パンのようなベーシックなアイテムの質を高くして、「自分たちが納得のいく、自分たちが食べたいと思うものを提供する」ことを心がけています。

それは素材や製法にも表れており、実際にかんりの部分を手作りされています。なんとクリームパンのクリームまで手作りされているということですから、パンに対する思い入れには並々ならぬものがありますね。

また、お二人の経験を生かし、パン屋とケーキ屋、それぞれの長所が出せるような商品づくりにも努めていらっしゃいます。

現在、全部で60種類ほどのパンを作られているそうですが、そのいずれにも心と手間をかけていますので、みなさんのお好みを見つけていただけたら、と弥生さんは語ってくれました。

店内で淹れてくれるコーヒーも評判は上々。イートインもできますので、ちょっぴり上質なファストフードとしてゆったり過ごされるのもいいかもしれませんね!



ブーランジェリーフクシマ

〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台1-32-66
TEL&FAX 072-349-6609
E-mail : info@b-fukushima.com

■ホームページ
<http://www.b-fukushima.com/>



泉ヶ丘祭
info

帝塚山学院
泉ヶ丘同窓会カフェ

9月15日(土)開催 10:00~

同窓会カフェ今年も泉ヶ丘祭で開店!
今年も美味しい珈琲をご用意しております。
同窓生はもちろん、ご父兄、在校生のご来店も大歓迎。

是非きてください!



第2回

帝塚山学院泉ヶ丘OB(青雲会)
ゴルフコンペを開催しました!

青雲会 第2回幹事 普通科1期生 西上孔雄・角掛潤一



優勝 普通科1期チーム



2位 普通科7期チーム



3位 普通科10期チーム



さる平成23年8月21日(日)天野山カントリークラブ(堺市南区)にて第2回青雲会ゴルフコンペを開催しました。前回の第1回目は、同窓会の役員さん達を中心となって幹事役をして頂いたのですが、今回は普通科1期生が中心となってお話をさせて頂きました。

当初真夏の猛暑の中での開催で、熱中症にならないかと心配していましたが、当日は幸いにも小雨が少し降るくらいの曇り空となり、8月としては珍しく涼しい気風のなかでのゴルフ大会となり参加者全員大いに楽しみました。

1期生~10期生31名と恩師の先生方6名の計37名の参加者で、各期別の8チームと、先生方の2チームの計10チームによるダブルペリア方式での団体戦を行いました。

1期生~10期生31名と恩師の先生方6名の計37名の参加者で、各期別の8チームと、先生方の2チームの計10チームによるダブルペリア方式での団体戦を行いました。

前回とは先生チームの圧勝でしたが、今回は先生チームを抑えて普通科1期生チームが優勝しました。また準優勝には普通科7期生チーム、3位は普通科10期生チームが健闘しました。コンペ会費の残金(9,686円)は同窓会へ寄付させて頂きました。この場をお借りして参加者のみなさまへご報告します。

次回は来年8月に開催予定ですので、同窓生のみなさんの多数のご参加お待ちしております。

成績表・上位3チーム

順位	団体名	氏名	クロス	HDCP	NET
優勝	普通科1期チーム	角掛 潤一	87	16.8	70.2
		江口 康二	78	7.2	70.8
		上杉 雄一	80	7.2	72.8
2位	普通科7期チーム	西上 孔雄	96	20.4	75.6
		藤山 豊由	85	16.8	69.2
		朝月 善博	101	30.0	71.0
3位	普通科10期チーム	比奈 一郎(欠席)	98	21.6	84.4
		河原田 隆紀	112	27.6	84.4
		大伏 健介	86	13.2	72.8
		松田 健二	84	10.8	73.2
		矢吹 員一	93	19.2	73.8
		松本 啓介	84	8.4	75.6



ホームページを
リニューアルしました!

より見やすくリニューアルした帝塚山学院泉ヶ丘同窓会のオフィシャルWebサイト。活動内容や「青雲」の紹介など、最新情報をお届けしています。また、新たにFacebookにもオフィシャルページを設けましたので是非ご覧ください。



便利な新機能

住所変更を
ホームページで申請
できるようになりました。

ホームページアドレス <http://www.tezuka-izumi.jp/>

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局まで

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号
帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 TEL&FAX.072-293-8680
E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

幹事総会報告

普通科3期生 細川 博



平成24年6月2日(土)午後3時より、泉ヶ丘校文化ホールにて幹事総会が開催されました。最年長である普通科1期生から、今年3月に卒業したばかりの新任幹事まで、総勢35名の幹事が出席し、脇田校長・登副校長・谷教頭にもご臨席賜りました。幹事総会では、平成23年度の活動報告の他、新しい委員会構成などが発表され、山根会長より次期常任幹事の委嘱も行われました。また、平成23年度の決算ならびに平成24年度の事業計画・予算についても承認されました。幹事総会終了後、「はや 魚太郎 泉北の郷」に場所を移し、新幹事の歓迎会ならびに懇親会を開催。おいしいお鍋を囲みながら幹事同士の交流をより一層深める宴となりました。

第3回青雲会
ゴルフコンペの
ご案内

昨年8月の第2回青雲会(帝塚山学院泉ヶ丘OB)ゴルフコンペには、多数御参加を頂きありがとうございました。下記にて第3回ゴルフコンペを開催することとなり、下記にて詳細ご案内いたします。参加ご希望の方は早めにお申し込み下さい。

- 開催日時/平成24年8月26日(日)
- 集合時間/8時(8時までに受付を済ませて下さい)
- 開催場所/天野山カントリークラブ
〒590-0135 大阪府堺市南区別所1549-46 TEL 072(284) 1919
ホームページ/ <http://www.amanosan.jp/ac/>
- 費用/コンペ参加費 5,000円(クラブハウスでの会費と景品代)
(プレー費20,000円程度・昼食代などは別途各自で精算して下さい)
- 競技方法/18ホールロークプレー ダブルペリア方式
ハンディ男性36・女性40までの個人戦
優勝・準優勝・3位・5位・7位・10位に賞金を授与の予定
- 申込み方法/参加申込書もしくはメールにて(科・期生・参加者名・連絡先・メールアドレスをご記入の上、下記宛先までお願いいたします。)
- 申込み先/FAXの場合:072-293-8680(大野苑)
メールの場合:t.izumi@aurora.ocn.ne.jp(大野苑)
- その他/開催日3週間前(8/19)以降のキャンセルには5,000円/人が必要となります。

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部顧問 藪本青吾



女子バスケットボール部 もうすぐ30年

みなさんこんにちは。国際科1期生から途中休部状態をはさんで28年。14年前に中学生も加わって、女子バスケットボール部は今日も汗を流しています。僕は汗もかかなくなりました。年とったから。教えるのうまくない。一覚えてますか。試合中は「いかんかい」「うたんかい」「ハタクソッ」「なんでやねん」「ドリブル下手はドリブルつくな」今もかわらずタチの悪い応援団としてベンチに居ます。

ファイターが好きでね。鮮明に記憶しています。数段格上のチームにも真剣に最後まで前へ。声は出なくても周囲を鼓舞し続けた。「ハタクソッ」言えなくなってきました。チームとしては、2年間でよくここまでというのがあったな。なかでも高女バスケットを復活させたあのチームは良かったなあ。部員の一人ひとり欠点だらけ。体力、技術、知力？性格！？…でも、チームスポーツというクラブってこうなんだって感動しました。めちゃくちゃ暑い東百舌鳥での試合だったか、勝敗は忘れたけど泣きそうでしたよ。君たちは当たり前のようにやりきった。

皆さんどうですか。大人になったら厳しい場面もいっぱいあるでしょう。でも、チームを信じる、練習は裏切らない、試合は最後まで、君たちはこの3つを携えて卒業したんでしょう。当時の仲間と時には確かめ合って、それを励みに今日明日を生きて下さい。後輩もがんばってるよ。今は倉橋先生の厳しい指導の下、練習量は倍くらいになったかな。また今には、体育館のそいてね。僕は職員室で待ってます。



華道部

高校2-1 上辻りさ

華道部は毎週水曜日、作法室で活動しています。花伝流生派という流派の家元の南総花先生が教えてくださいます。1人ずつ丁寧に教えてくださるので、とても分かりやすいです。時には談笑したりもして和やかに楽しい部です。

基本的には南先生がお花を選んでくださるのですが、「何かやりたいう花ある？」と私達の希望を聞いてくださることもあります。冬にはクリスマス用、正月用など季節のイベントに合わせた作品を作ります。泉ヶ丘祭の時には、いつもより少し難しい活け方をしてみたりして、当日昇降ホールで展示します。毎年自信のある作品になっているので泉ヶ丘祭に来た時は是非じっくり見て行ってください。

私は中1の時から華道部に入っていますが、一時期部員数が4人になりました。その時は廃部になったらどうしようかと、来年新生が入る1人も入部しなかったらどうしようかと不安になっていました。でも一昨年頃から一気に部員数が増え、今では常に15人ぐらいは居るほどになりました。少人数の部活も楽しいけれど、多人数の方が色々な人の作品が見られるのも楽しいです。「個性」がとても分かりやすく出る世界だなあと思います。

あと、華道の世界で言える事は人間にも言える事が多いです。南先生がよくおっしゃるのは、「この花が一番綺麗に見えるよう、個性を生かしましょう。それは人も同じで自分の良いところを伸ばして生きれば良いですよ。」ということです。このように他にも花と人には通ずるところがたくさんあります。とても勉強になりますし、これが華道の魅力の1つだと思います。



卒業生 母校に 帰る



普通科7期生 北岡 智也 先生

母校である泉ヶ丘校を卒業して20年が経ちました。大学受験の際、経済学部を志望する同級生が周りに多かったことで、深く考えずに経済学部に進みました。将来何をめざすかもあいまいなまま、学生生活を送っていました。そんな時、小学生の家庭教師として、私立中学校を受験するお手伝いをしました。到底合格は無理だろうと思われましたが、受験までの半年間、ほぼ毎日小学生の家まで通いました。課題をさぼった小学生を怒ったり、泣かせてしまったり、また一方でしようもないことを言ったり互いに笑ったり、休憩時間にいろんなことを話したりしました。まるで毎日が合宿のようでした。その甲斐あって、周りの憶測に反し、その小学生は見事志望校に合格しました。合格の連絡を聞いたとき、抱き合って泣いて喜んだことを今でも鮮明に覚えています。

このことがきっかけで、「定型の商品」を扱う仕事よりも、「活きた素材」と関わる仕事をしたいと考え、教員を志すようになりました。教員免許を取得するためには、他の経済学部の学生よりかなり多くの単位を取得しなければなりません。大変な思いをしましたが、無事教員免許を取得することができました。教育実習でお世話になったことがきっかけで、母校である泉ヶ丘校でお世話になることになりました。それから16年間、「社会」の授業やバレーボールを通して、多くの生徒たちと関わり合うことができました。授業のスタイルは、当初と変わらず「食べ物ネタ」を中心に、生徒たちと問答しながら進める形を続けています。バレーボールでは、年齢的に高校生と一緒に体を動かすことは難しくなってきましたが、相変わらず口だけは動かしています。これからも生徒たちと積極的に関わり、共に成長していきたいと思っています。

「30年間の韓国研修旅行を本にまとめています」 卒業生の皆さんご協力ください!! 執筆経過報告



帝塚山学院泉ヶ丘高校 菅野 修一 先生

泉ヶ丘校国際科の韓国研修旅行も開始以来約30年が経過しました。この間、時代は20世紀から21世紀へ、また昭和から平成へ廻り変わり、韓国研修も色々な経験して多くの成果を残しました。そして私は還暦を過ぎ定年が近づくと、これらの経験を言語化し、本にまとめて後の人々に伝えなくてはならない、という責務を感じるようになりました。

30年前、韓国は日本人にとってはまだまだタブーの国でした。かつて日本が植民地にして、大きな被害を与えた国。韓国人は日本人に恨みの感情を持っているだろうと予想しながらも、学校ぐるみ生徒どうしの交流が開始されました。そして交流と研修の記録として研修冊子『アンニョンハシムニッカの旅』を毎年発行続け、現在まで約30冊に達しました。

さて私の、現在までの執筆準備作業の到達段階について説明します。私は、我が校の韓国研修まとめるに当たり、まずは研修冊子を分析することにしました。現在まで、研修冊子の分析は、2000年代まで約20冊分が終わりました。この作業を通して、1980年代から現在に至る各々の時期における、泉ヶ丘校生徒の韓国に対する意識の変化を調べました。また、各時期における交流前と交流後の意識の変化も、調査項目に加えました。

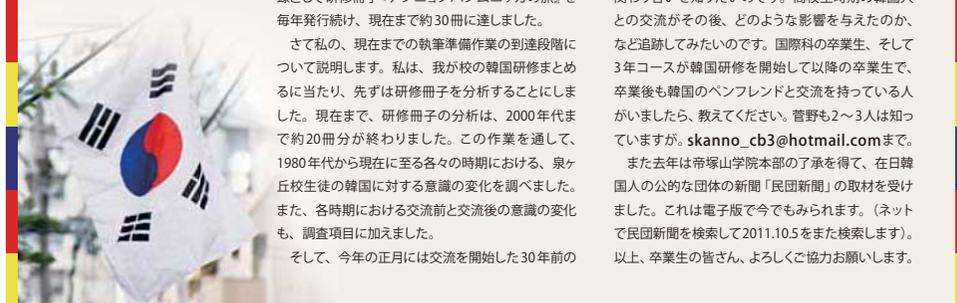
そして、今年の正月には交流を開始した30年前の

泉ヶ丘校校長先生にインタビューを行い、そして春休みに韓国に飛んで、スンニョン・クナ両女子高の校長先生のインタビューを行って来ました。成功した。

そして暫定的な結論としては、生徒の(＝一般の日本人の)対韓国意識は1990年代の中ごろにその転換が認められ、現在の(21世紀初頭の)日本人の過半数が韓国に親近感を持つという感情の基礎は、このころ形成されたといえます。

さて、なおも執筆のための作業は進行中です。そこで、菅野から卒業生の皆さんへのお願いがあります。それは泉ヶ丘高卒業生の皆さんの後の韓国との関わり合いを知りたいのです。高校生時代の韓国との交流がその後、どのような影響を与えたのか、など追跡してみたいのです。国際科の卒業生、そして3年コースが韓国研修を開始して以降の卒業生で、卒業後も韓国にペナフレンドと交流を持っている人がいましたら、教えてください。菅野も2～3人は知っていますが、skanno_cb3@hotmail.comまで。

また去年は帝塚山学院本部の了承を得て、在日韓国人の公的な団体の新聞「民団新聞」の取材を受けました。これは電子版で今でもみられます。(ネット为民団新聞を検索して2011.10.5をまた検索します。以上、卒業生の皆さん、よろしくご協力お願いします。





帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

創立30周年記念事業のお知らせ (第2報)

同窓会誌『青雲』Vol.18でお知らせいたしましたように、来年は泉ヶ丘校の創立満30周年にあたります。この機会を利用して泉ヶ丘校の30年の歩みを振り返ると同時に、さらなる飛躍に向けての出発点とする意図を込めて、いくつかの記念事業を計画しています。そこで、同窓生の皆様にもご参加いただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念事業の概要

1. 創立30周年記念・学校報告会及び祝賀会

学院関係者や現職教員だけでなく、教員OBも出席されます。同窓生の皆様も是非ご出席ください。参加費は無料です(祝賀会も含めて)。なお、生徒は参加しません。

- ◇日時 2013年5月11日(土) 13:00~18:30
- ◇会場 堺市立東文化会館 5階メインホール・3階プラットホール
- ◇式次第
 - ① 来賓挨拶
 - ② 学校報告会
 - ③ 能楽師・山中貴博さん(普通科3期生)の能舞台
 - ④ 管弦楽部のコンサート
 - ⑤ 木津川計先生(上方芸能・発行人、和歌山大学客員教授)の記念講演
 - ⑥ 祝賀会

2. 創立30周年記念・PTA教育講演会

普段のPTA教育講演会は保護者向けの行事ですが、来年は、同窓生の皆様も出席していただく結構です。興味・関心のある方は遠慮なくご出席ください。事前の申し込みは不要です。

- ◇日時 2013年5月18日(土) 15:00~16:30
- ◇会場 泉ヶ丘校 3階文化ホールにて
- ◇講演 ペニシア・スタンリー・スミスさん(大原の古民家再生やガーデニングで活躍)

3. 創立30周年記念・文化講演会

普段の文化講演会は生徒向けの行事ですが、来年は、保護者や同窓生の皆様も参加できる催しを計画しています。内容・日程等について正式に決まりましたら、お知らせいたします。

4. 創立30周年記念誌『あこがれは 遠く高く』

2013年4月発行に向けて編集作業をすすめています。泉ヶ丘校教育の特色と歩み、行事やクラブ活動の記録、貴重な資料や思い出のアルバムなどからなります。

上記の1~3は、創立30周年を祝う式典ですので、同窓生の皆様もご出席いただけるような形態・内容で開催したいと考えています。ご退職された先生方も多数ご出席くださるものと思います。同窓生の皆様も、万障繰り合わせのうえ、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍とご支援なくして、泉ヶ丘校の30年はなかったといえます。皆様のご活躍とご発展を祈念しております。

(創立30周年記念事業委員会)

アドミッションセンターより

平成24(2012)年度 泉ヶ丘校の入試結果

中学入試は、1次入試の募集が約120名(昨年は約110名募集)、2次入試の募集が約30名(昨年は約40名募集)と1次・2次入試の募集人数を若干変更し、後期入試はそのままの募集人数(約10名)で実施しました。1次入試では初めて200名を超える受験生があり、160名の募集定員に対して、204名の新生入生を迎えることができました。

高校入試は、平成22年(2010年)4月に大阪府が導入した私立高校無償化制度の影響が、募集定員80名に対して、専願の入学者数が86名と専願者だけで

定員を超え、併願者と合わせた入学者数は139名となりました。例年、1年生のクラス数は、理数Sコースが1クラス、理数・国際コースが1クラスの計2クラスでしたが、今年度は、139名の入学生を迎え、3クラス編成で新年度をスタートしました。

中学・高校の受験生・合格者・入学者の数、合格者平均点などの詳細はホームページに掲載しています。また、次年度の入試に関する情報についても随時掲載していきます。

平成25(2013)年度 入試のお知らせ

【入試関連行事の日程】 ※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

中学入試関連	入試説明会	10月6日(土) 14:00~	児童・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	プレテスト	11月3日(土・祝) 8:20~	小学6年生対象で、事前の予約が必要です。同時に、保護者対象の入試説明会も開きます。
	プレテスト個別懇談会	11月17日(土) 9:00~	プレテストの参加者を対象に行います。予約は、プレテストの後に受け付けます。
高校入試関連	高校体験入学	10月27日(土) 13:30~	中学3年生対象で、事前の予約が必要です。
	入試説明会	11月10日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	入試説明会	12月1日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。

【中学校入試について】

■ 募集人数・日程

コース 定員	区分 日程	1次入試	2次入試	後期入試
		1月19日(土)	1月20日(日)	1月22日(火)
医 進(約40名)		約120名	約30名	約10名
特進A(約80名)				
特進B(約40名)				

● 専願・併願制

専願は、泉ヶ丘校を第一志望とし、合格した場合は入学していただくことを条件とします。

● 特待生・特奨生制度

いずれもプレテスト及び入試試験において、優秀な成績をおさめた受験生が対象となります。ただし、専願受験生に限りません。

【高校入試について】

■ 募集人数・日程

コース 定員	区分 日程	1次入試	帰国生入試
		2月9日(土)・10日(日)	1月22日(火)
普通科(理数) 国際科		約80名	約5名

● 特待生・特奨生制度

いずれも学業優秀で、中学校長の推薦を受けた受験生が対象となります。ただし、専願受験生に限りません。



撮影:長谷波 淳弘(普通科10期生)

帝塚山学院

100周年記念募金事業のお願い

学校法人帝塚山学院は、創立100周年を期に、深刻かつ急激な情勢変化等により経済的に修学困難となった学生・生徒・児童たちが一人でも多く進学・卒業できるように、独自の奨学金制度をスタートさせたいと考えております。創立100周年を期に募る募金は、全額この「帝塚山学院奨学金基金」の資金に充当します。



募金要項の骨子

- ① 募金目標額 3億円 募金口数 1口3万円(2口以上のご協力をお願いします) ※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。
- ② 募集対象 本事業に賛同頂ける、在校生および卒業生の保護者、新旧の教職員、同窓生、学院関係者並びに法人(企業)
- ③ 募金使途 学生・生徒・児童への奨学金に充当します。
- ④ 募金期間 2010年7月から2016年3月まで ※期間終了後も継続して募集してまいります。
- ⑤ 芳名録の作成 寄付申込を提出された方々のお名前を継続的芳名録に記載し、「学院通信」などでお知らせいたします。最終的には募金期間終了後、寄付金の金額を記した最終芳名録を作成し、学院に永久保存して顕彰させていただきます。なお、ご本人の希望により匿名扱いもいたします。
- ⑥ 寄付者の顕彰 芳名録に基づき、個人100万円以上、法人300万円以上の寄付者については、学院・住吉キャンパス内に「帝塚山学院創立100周年記念事業寄付者銘板」を設置し、顕彰いたします。
- ⑦ この寄付金は、確定申告等により所得控除又は税額控除の適用を受けることができます。

お問い合わせ

学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事業局 〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51
Tel : 06-6672-1960 Fax : 06-6678-8797 E-mail : 100nen@tezukayama.ac.jp URL : http://www.tezukayama.ac.jp

平成24(2012)年度 大学入試の結果報告

(卒業生数233名 平成24年4月6日現在)

◆ 国公立大学

京都大学	2名
大阪大学	5名
神戸大学	10名
東京外国語大学	1名
名古屋大学	1名
北海道大学	1名
大阪府立大学	7名
大阪府立大学	9名
京都工芸繊維大学	2名
その他(大学含む)	48名
合 計	86名

◆ 私立大学

早稲田大学	5名
慶応義塾大学	4名
中央大学	3名
同志社大学	24名
立命館大学	46名
関西学院大学	42名
関西大学	71名
近畿大学	62名
帝塚山学院大学	5名
その他(短大含む)	199名
合 計	461名

◆ 医学部医学科

大阪府立大学	1名
奈良県立医科大学	1名
和歌山県立医科大学	2名
滋賀医科大学	1名
防衛医科大学	2名
鳥取大学	1名
近畿大学	4名
関西医科大学	2名
兵庫医科大学	2名
その他	7名
合 計	23名

◆ 薬学部

近畿大学	7名
同志社女子大学	2名
武庫川女子大学	5名
京都薬科大学	5名
大阪薬科大学	10名
神戸薬科大学	8名
大阪大谷大学	1名
摂南大学	1名
合 計	39名

新しい取り組みとしてキャリア教育(職業体験プログラム)を実施します

社会の激しい変化の中で、一人ひとりが生きる力を学び、将来に向けて目的意識を少しも持てるよう、泉ヶ丘中学校では職業見学を実施します。現在、見学場所の候補としては企業や総合病院などがあがっています。同窓生の方で、中学生対象の見学会や説明会などに、興味がおありでご協力いただける方は、下記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。

- 日程 : 10月25日(木)・26日(金) 見学場所 約10ヶ所 (中学3年生対象)
- お問い合わせ先 アドミッションセンター TEL : 072-293-1416

スマートフォン
サイトを開設
しました。

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp



ごあいさつ

平素は、同窓会活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

本年は同窓会総会の開催年にあたり、来る11月18日にリーガロイヤルホテル堺にて同窓会総会が開催されます。学年を越えた同窓生との交流や恩師との旧交の場として、皆様方のご参加をお願い申し上げます。

また、平成25年には、母校も創立30周年を迎え、様々な記念行事が行われる予定です。同窓会としても、母校への協力をする所存でございますので、同窓生の皆様方におかれましては、ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

本年は同窓会ホームページの改訂など、同窓生の交流が深まる施策を順次実施し、幹事間の交流も深まってきております。幹事・常任幹事は随時募集しておりますので、是非ともお気軽にご参加ください。

最後に、母校の歴史は、恩師や在校生とともに、同窓生のご活躍により築き上げられていきます。同窓生のご活躍と、創立30周年を迎える母校の発展を祈念し、今後とも同窓会活動へのご協力をお願い申し上げます。



山根 敬介 (昔4期)
泉ヶ丘同窓会 会長

ひょんなことから、会報誌の制作に関わるようになっては数年。その間に、取材や寄稿の依頼で多くの同窓生の方と接する機会がありました。みなさんの活躍を知り、いろいろなお話を聞きながら、こちらもたくさん刺激をもらいました。少しでも皆さんに楽しんでもいただける誌面を作っていくように頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。青雲についての感想やリクエストなどございましたら、事務局までどしどしお寄せください。スタッフが喜びますので(笑)

お詫びと訂正

前号Seiun18号の掲載において、下記の記載漏れ、誤字があったことをお詫び申し上げます。

- P3 かすや整形外科の所在地について**
 整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
 大阪市中央区谷町六丁目2-30 川島ビル1F
 TEL : 06-6767-1118 FAX : 06-6767-1119
- P15 ポスター下**
 撮影 : (誤) 長谷波 淳弘 (普通科10期生)
 (正) 長谷波 淳弘 (普通科10期生)

表紙のご紹介

横山琢哉 高校2-4

横山琢哉くん(高校2年)が3月末に実施されたグレンツェンピアノコンクール第21回大阪地区大会高校の部に参加し、金賞を受賞しました。7月1日、東京で開催された全国大会では、惜しくも金賞を逃しましたが、優秀賞を受賞しました。



ピアノコンクール地区大会で金賞受賞



平成23年度 会計報告

収入の部 (22年度決算)			
会費	5,520,000	泉ヶ丘創立30周年寄付金	0
総会会費収入	0	雑収入	20,660
寄付金収入	24,268	受取利息	4,035
学院創立100周年寄付金	0	合計	5,568,963

支出の部 (22年度決算)			
連絡協議会分担金	194,000	総会関連費	0
贈答費	488,197	備品消耗品費	56,774
通信費	172,809	会費返金(転学・退学・入学辞退者)	260,525
東京同窓会関連費	40,000	学校協力準備金引当繰入費	200,000
会誌費	1,049,318	学院創立100周年寄付金引当繰入費	0
活動費	175,808	泉ヶ丘創立30周年寄付金引当繰入費	0
人件費	1,972,400	雑費	16,080
広報費(WEB制作)	93,520	合計	4,783,448
泉ヶ丘祭関連費	64,017		



帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

総会・懇親会

2012年
 日時 **11/18** 日
 11:00~14:00

会場 **リーガロイヤルホテル堺**
 ロイヤルホール2 [4階]

同級生はもちろん、
 懐かしい恩師や先生方、
 先輩、後輩とも楽しく
 歓談できるのが、
 総会・懇親会の魅力!



今後も皆さんの活躍の場を広げ、
 繋げることのできる総会・懇親会を
 開催していきます。

●次回は泉ヶ丘校30周年記念の総会となる予定! 皆様ご協力のほどお願い致します。

広告募集のお知らせ

『帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 第7回総会・懇親会』のプログラムに掲載する広告を募集いたします。さまざまな卒業生の今を映し出すページでもあり、同窓会を盛り上げるのに欠かせないものとなっております。是非とも皆さんの皆様にご協力いただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

掲載は無料 広告の大きさは名刺サイズ 掲載場所はプログラム裏面または別紙

※任意ですが、総会当日の抽選会での景品(掲載企業の商品、サービス等)をご提供いただければありがたいと考えています。
 ※詳細は帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 (TEL 072-293-8680) までお問い合わせください。

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

総会・懇親会

のお知らせ

日時 2012
11月18日(日)
11:00~14:00 [受付10:30~]

会場 リーガロイヤルホテル堺 ロイヤルホール2 [4階]

- 会費
- 一般:1期~21期/5,000円
 - 学生:22期~27期(2007年卒~2012年卒)/3,000円
 - 同伴者(泉ヶ丘卒ではない方)/8,000円
 - お子様3歳以上(要申込み)/2,000円

申込み方法 FAX(下記申込書)、もしくはE-Mailで

締切り 10月17日(水)

お問い合わせ 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
〒590-0113 堺市南区晴美台4丁目2番1号
TEL・FAX.072(293)8680
E-Mail:t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

第7回 泉ヶ丘校 総会・懇親会申込書

FAX送信票

フリガナ	フリガナ		男・女
お名前	旧姓		
同伴者	お子様	年齢	歳
コース	普通科・国際科 (期生)	会員番号	
ご住所	〒 -		
		Eメール	
TEL/FAX	TEL. ()		
	FAX. ()		

FAX送信先 072-293-8680